

衛星シミュレータ研究会 2018

2018年7月12日(木) 10-17h (予定)

場所：[東京大学大気海洋研究所](#) [大気海洋研究棟](#) 講堂

気象・気候モデルと人工衛星データの連携研究の現状を俯瞰し、今後の展開を議論する場として本研究会を開催します。

今年は特に、地上レーダ観測とモデルの連携研究について議論の深化を期待します。

10:00

端野典平 (名古屋大学 ISEE) Joint-Simulator の開発状況と全球モデル適用例

久保田拓志(JAXA EORC) JAXA の衛星シミュレータ関連の活動

岡本幸三(MRI) RTTOV と Joint-Simulator を用いた、GSM のひまわり赤外輝度温度シミュレーションの比較

清木達也(JAMSTEC) 氷雲の形態と地域性評価

Woosb Roh・佐藤正樹(AORI) Evaluation of microphysics in mixed-phase clouds over the Southern Ocean in NICAM using Joint simulator

小槻峻司, 寺崎康児, 三好建正(RIKEN) NICAM-LETKF を用いた GPM/DPR データ同化実験

13:15

松井俊久(NASA, Goddard) Overview of POLArimetric Radar Retrieval and Instrument Simulator (POLARRIS)

牛尾知雄(首都大学東京) フェーズドアレイ気象レーダについて

前坂剛・岩波越 (防災科研) 首都圏積乱雲観測システムについて

勝俣昌己(JAMSTEC) 「みらい」レーダー観測の現状

篠田太郎(名大 ISEE) Ka 帯偏波レーダと粒子の直接観測による雲粒・氷晶観測

川畑拓矢 (MRI) 二重偏波レーダーデータ同化観測演算子の開発とその性能評価

16:00

堀田陽香(AORI)COSP を用いた MIROC の雲・放射場の評価

神代剛(MRI) COSP による MRI-ESM2.0 の CMIP6 歴史実験の雲検証

幾田泰醇 (気象庁数値予報課) GPM/DPR の同化と検証

18:00 懇親会 (柏の葉キャンパス駅近辺)

発表時間 15分+質疑。